ネットワーク9 地域づくりの輪

# 臼井ふれあいキャンプ

## 豊かさから離れ今の生活を振り返る

金子文吉くん（臼井・臼井小6年）

〝夜は寝ないで話をしてた〟

今年の野外活動講習会に参加したので、飲ごう炊さんはうまくできましたが、カレーは味が薄かった。残りを夜食のオニギリにかけて食べた人もいます。夜はずっと寝ないで話をしてたら、午前三時ころ先生にしかられました。キャンプファイヤーも楽しかったし、ウオークラリーも疲れたけどおもしろかった。

臼井地区公民館では、親の手伝いなしで子供たちだけで生活する「ふれあいキャンプ」を、臼井小学校やPTA、地区青少年育成協議会などの協力を得て、今年から始めました。

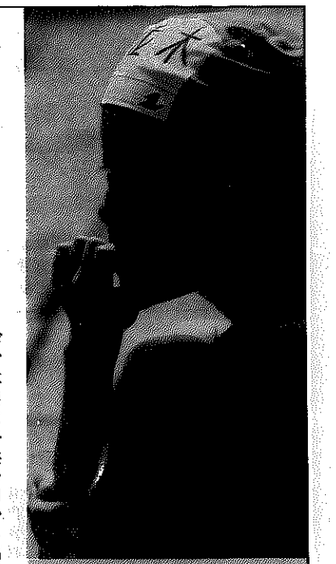
「今の子供は昔と比べて自立の機会がありません。不便な生活を体験し、今の豊かな生活を振り返る心の余裕を持ってもらいたいものです。また、お互いの心の交流を深め、共同精神を養ってもらいたい。人間形成の上で最も大切なことだと思います。この経験が大人になったら必ず役立つことでしょう」と、地区公民館長の遠藤末五郎さんは話しています。

夏休みも終わりに近づいた八月二十一日と二十二日の二日間、臼井小学校グラウンドに集まった、同小学校五、六年生全員、約六十人は、七～八人の班に分かれてテント設営に始まり、飯ごう炊はん、キャンプファイヤー、地区内五キロを歩くウオークラリーなどを行いました。

夕食では「こんなからいカレー食べたことないよ」「いや、水みたいだ」と文句を言いながらも鍋がどんどんカラに

夕食には父兄ら約二十人が招かれ、子供たちの作ったカレーをごちそうになり、キャンプファイヤーをいっしょに楽しんでいました。

父兄の小林ひさ子さんと大竹雅子さん（二人とも上赤渋）は「子供が初めてのテント生活を楽しみにし、三日も前から支度してたんですよ」と話してくれました。



写真と文とは関係ありません

先生の見た 現代っ子

## 教えれば育つのか

学校では毎月、子供の生活がどうであったかを反省する会を持っています。その際、きまって問題になるのが「わかっているけどやめられない」という、いわゆるたてまえと本音です。

このたてまえと本音をことのほか、うまく使い分けるのが現代っ子の一面でもあります。この事例の一つ二つを紹介してみましょう。

その第一は、子供は、親や教師が理論として正しい答えを期待し「よし」と評価することをみごとに見抜いています。だから夏休みであれば「規則正しい生活」、友人関係であれば「みんな仲よく」というたてまえ論が、容易に子供の口から出てきます。いとも容易につくられた規則が守られないのは周知の事実です。みごとに顔色を読まれたのです。

第二に、現代っ子は物事を第三者的に捕らえるのが上手です。交通事故で大けがをした話を聞くと同情はするが、自分とは無関係なのです。だから、規制がないと、登下校の歩行も乱れがちになります。事故を自分に置き換えて考えないのが現代っ子の欠陥です。これが「私、規則をつくる人、あんた守る人」となったら大変です。

あれほど言ったのに、まだわからないのかと親も教師も嘆く。それは「教えれば育つものだ」ということを前提とするからでしょうか……。

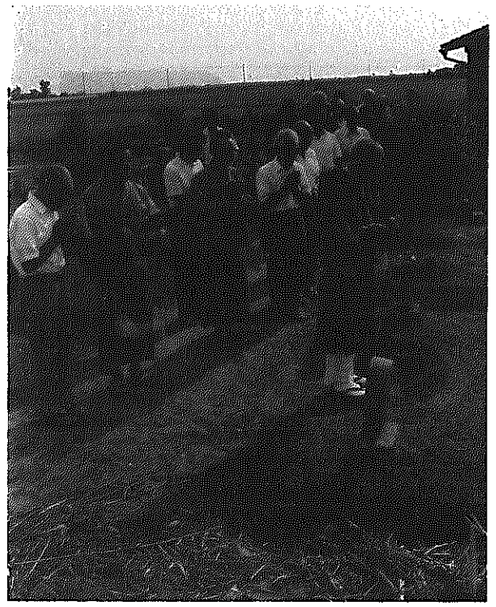
今、この前提に検討を加え、発想を転換した教え方をしなければ、たてまえと本音という二分関係は崩せそうにありません。

**（茨曽根小学校にお願いしました）**



# 春秋二回の招魂祭で子らの霊を供養する

語る人
斉藤斉九郎さん
（引越・農業・72歳）



9月1日、お坊さんがお経をあげる中、26人がお参り

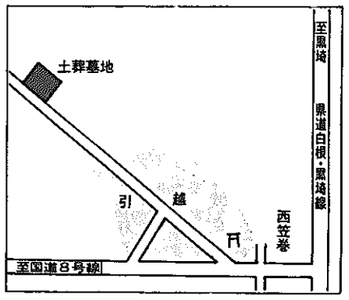
## 私の思い出 昔のわが街

引越部落から北へ二百㍍くらいの所に昔の火葬場があり、そのわきには五㍍くらいの土葬墓地があります。その墓地は本村二十六戸、一戸四坪づつに割ってあり、そこへ明治、大正にかけて、少ない家では二人、多い家では七、八人もの子供が埋められています。

また、私の子供のころ二頭の農耕馬が死に、そこに埋められるのを見に行ったこともありました。

このような土葬地のある村は、県内でも少ないと聞いています。部落ではこの霊を供養するため、毎年春秋二回、招魂祭を行っています。この日は部落全員が集まり、当番の家の宗旨のお坊さんを願って現場でお経をあげてもらいます。この二、三日前までには草やぶの自分の墓の所を清掃し、花などをあげておきます。

お経が終わると当番の家に戻り、みんなで懇親会をやります。出席者は、仏のお祭りとあってお年寄りが多く、また、席順は年長者が上座と決められています。お年寄りもこの時ばかりと、昔覚えた歌など歌い、腰を使って踊る人、話に花を咲かす人など、半日を楽しく過ごします。




## 白根語辞典③

昭和四十三年、故福島定治氏（当時、市教育委員会 社会教育主事）編集「しろねのことば」から

**いっぷく** ひと休み。新飯田・庄瀬・白根・大郷・鷲巻・根岸地方

いっぱく＝茨曽根・臼井地方

**いて** 痛い

**いとしげ** きれい、かわいい

**いぬっころ** 犬の子。新飯田地方

いんころ＝全地域

**いよね** 女の人がハナを曲げたときに使う

**いろまめ** さやいんげん。茨曽根地方

**いんが** 犬

ごち＝根岸地方

**いかった** よかった

### う

**うーせ** 薄い

うっせ＝新飯田・庄瀬地方

**うす** うそ

**うそこき** うそを言う

うそこく＝全地域

**うでまめ** 枝豆をゆでたもの。新飯田・茨曽根地方

**うっそ** そうでない。根岸地方

**うつわ** うちわ。庄瀬・臼井・大郷地方

おつわ

**うるめ** めだか

**うんま** すぐ。茨曽根地方

### え

**えーぶ** 歩く

**えーまちした** けがをした

**えどまめ** さやいんげん。臼井・大郷・鷲巻・根岸村方

えんどまめ＝新飯田地方

**えびがに** ざりがに

**えんこぽっち** 大便所。根岸地方

あっぱじょ＝庄瀬地方

あっぱんじゃ＝新飯田・茨曽根・白根・大郷地方

**えんぞ** 下水

いがわ＝白根地方

げす＝庄瀬・茨曽根地方

### お

**おーして** そうして

**おーよ** そう

**おいあげ** 突然天候が悪くなって休みになること

おーやげ＝庄瀬・茨曽根・臼井地方

**おうせば** そうすれば

そうせば＝全地域

**おおだらこっぺ** ものすごく散らかしている状態。庄瀬・茨曽根・大郷地方

おおだりこっぺい＝新飯田地方

おおばら＝鷲巻・根岸地方